

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

西暦 2017 年 7 月 11 日作成

研究課題名	脳由来血中エクソソームのマイクロ RNA と神経疾患の関連
研究の対象	健常人及び統合失調症患者の血清
研究目的 ・方法	脳内環境の変化を血液サンプルを用いて解析できるようになれば、脳脊髄液を採取することなく神経疾患の診断ができる可能性がある。細胞が分泌するエクソソームと呼ばれる小胞は様々な RNA やタンパク質を含み、診断マーカーとなることが期待されている。本研究では脳から血中に移行したエクソソームのマイクロ RNA を解析する。将来的には神経疾患の患者血清を解析し診断マーカーとなるか検討することを目指す。
研究期間	西暦 2017 年 8 月 1 0 日 ～ 西暦 2019 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	バイオバンク室に保管されている血清を利用する。バイオバンク室では、2014-2016 年の横浜市大職員の健康診断の残余血液を横浜市大附属病院で採取し、同意を得られた方のサンプルを保管している。
外部への 試料・情報の 提供	なし
研究組織	横浜市立大学大学院生命医科学研究科機能構造科学研究室 准教授 佐々木 幸生 修士一年 木村 貴洋 外部の共同研究機関はない。
<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	